

貧しいひとりの男。ある日観音様に「どうかしてください」とお願いすると、観音様が告げたのは、「掴んだものはなさないように」とのこと。

歩き出した男は、転んだ拍子に一本のわらしべ（わらの芯）を掴みました。男は、観音様の言葉を思い出し、そのわらしべを掴んだまま歩き出します。しかし、歩いている目の前を、蛇が飛んでうるさいので、その蛇を捕まえてわらしべに括り、また歩き出しました。

歩いていると、子どもがやってきて、「男が持っている蛇がついたわらしべが欲しい」と。男が、蛇がついたわらしべを子どもにあげると、お供の者がお礼に、みかんを3つくれました。

みかんを持って歩いていると、呉服屋が「喉が渇いて死にそうなので、そのみかんが欲しい」と言いました。男は、みかんを3つとも呉服屋にあげることに。呉服屋はお礼に、反物（着物などに使うの織物）を3反くれました。

さらに歩くと、道端で死にそうな馬を見つけます。男は、飼い主に反物3反を渡して、「これで馬を引き取りたい」と言います。引き取った馬に水を飲ませて介抱すると、馬はたちまち元気になりました。

馬を引いて歩いていると、旅に出かける人が「急いでいるのでその馬を譲って欲しい」と。「代わりに屋敷と田んぼを貸しましょう。しかし、もし3年経っても私が旅から戻らなかったら、屋敷と田んぼを、そのままあなたに与えます」と言いました。男は馬を渡し、その屋敷で暮らし始めることに。

3年経っても5年経っても、家主は帰ってきませんでした。男は、わらしべ一本から、広い屋敷と田んぼを手に入れたので、みんなからわらしべ長者と呼ばれました。

銀杏は、約2億5千万年前の古生代中頃に地球上に出現した古い植物で、氷河期も奇跡的に生き残りました。ダーウィンが、「生きた化石」と呼んだのはそのためです。日本には15世紀（室町時代前後）頃伝わったとされています。

銀杏の樹には、雄の木と雌の木があり、実になるのは雌の木だけです。ギンナン全体が種子で、外側の柔らかい部分は種子の外種皮で、それを取り除くと固い殻につつまれた銀杏の核が出てきます。ギンナンとして食するのは、固い殻の核を割った中にある仁です。

（以下、スライド参照）

銀杏の剥き方

食べ方

料理

豊多摩の銀杏

さて、10月下旬のお話しです。校門でご挨拶するご近所さんに銀杏を配っていまし

たら、お茶になって返ってきました。チョコレートに続く、第二段です。以前、おばあちゃんから「校長先生頑張っているから」って、チョコレートをいただいたお話しはしましたが、実はあのおばあちゃん、またくれました。で、今日のお茶の話は別人ですが。

犬を連れた、いかつい感じのご近所さんです。ウチで取れた銀杏です。と言って、お渡ししたら、大変喜んでくれて、実は去年いただいて、こういうやり方もあるのかと感動したものでブログに上げさせていただいたんですよとおっしゃっていました。それは昨年、学友会や一年生に協力いただいて手紙を添えて、道の両脇と隣接する近隣の皆さんに、私の手紙を添えてお配りした銀杏についてのことでした。1,000以上の「いいね」を貰ったそうですよ。

いつもご迷惑をおかけしています。と私が言うと、何が迷惑なもんですか？若い人は元気がなくちゃ。と、豊多摩のことを褒めてくれました。最近嫌な世の中で、嫌なことを言う人はいっぱいいるでしょ？でも、学校の方が先に建ってたわけだし、文句言う筋合いもないよな。ここに30年住んでいるけど、前は酷かったよ。今はいいよ。応援してるよ。大きな声出して喉が渴いたら飲んでと励ましの言葉とお茶4本をくれたのです。

豊多摩のことを応援してくれている人がいます。普段は文句の方がモチベーションが強いから、そちらばかりが目立つわけです。エネルギーを溜めに溜めて、どっかーんと攻撃してきますからね。こちらにも不意を突かれてダメージ大きいわけです。しかし、今回のことで実は同じくらい、いやもしかしたらもっと多くの応援をいただいているのかもしれないと思ったのです。怒りのモチベーションって、とても強いです。でも、逆に感動のモチベーションも強いと思っています。人を動かすのは、実はこのような感情の部分が多い。その辺のお話しはまたの機会にするとして、人の関係って、よくも悪くも、持ちつ持たれつだなあと感じます。嫌な人に対して、嫌な態度を取れば、相手からも嫌な感じで返ってくる。悪口を言えば、悪口が。攻撃すれば攻撃が。いかつく見える人でも、こちらから仲良くしようと思えば、実は向こうも仲良くしようと思っているのかもしれない。

通学途上、マナーが悪いと苦情がありました。相手の方も大変興奮していて、過激なことを言っていました。たくさんの生徒がいて、集団で歩いてくるので重圧を感じるのでしょう。不快な思いなのでしょうね。もし、そういう場に居合わせたとしても、みなさんは冷静に対処してください。その場で言い争うようなことはせず、先生に一報をお願いします。

話を戻します。拾った、ただの銀杏が、ペットボトルのお茶に。さながら現代のわらしべ長者のお話しみたいです。今、自分の利益ばかりを考える殺伐とした時代に、それも東京杉並のこんな住宅地にも、そんな気持ちのある人がいたんだと、しかも、1,000以上の「いいね」をしてくれた直接お会いできない方々もサポートしてくれている。ただの銀杏が起こしたお話しで、私も嬉しかったわけです。ごめん、高校生向けにするようなお話しではなかったね。でも、みんなのことを応援しているご近所さんもいるということのをいつも胸に留めて、頑張っしてほしいというわけで… *Touch the Sky!*